

絆

赤井むつみ後援会便り第36号

笑顔あふれる温かい町に！

2017年6月 発行



第2回定例会（6月議会）の主な内容

【条例改正の主なもの】

- ◎ 八雲町農業委員会の選挙による委員の定義に関する条例
農業委員会等に関する法律の改正に伴い、農業委員の選出方法と定数を定める。
農業委員の定数は、14人とし、2017年12月1日から施行。
- ◎ 八雲町育成牧場の管理を、指定管理者に行わせることを可能とさせるため、既設条例の一部を改正。2017年7月1日から施行。

【補正予算の主なもの】

主な内容	金額	財源内訳		
		国道支出金	一般財源	その他
熊石相沼の山車改修	250万円			コミュニティ事業助成金
障がい児通所等給付費 (児童デイサービス等)	2157万 5千円	1618万 4千円	539万 1千円	
空き店舗改修費用	200万円	42万5千円	157万5千円	
北里八雲牛地産地消体系構築事業補助金	150万円		20万円	130万円
耐震貯水槽設置工事請負費 (消防施設費)	3246万 5千円	676万3千円	2千円	2570万円 (地方債)
経営体育成支援事業補助金	300万円			
担い手確保・経営強化支援事業補助金	1144万 4千円	1669万4千円		
農業次世代人材投資事業交付金	225万円			
風力発電環境影響調査 (鳥類調査)業務委託料	524万 9千円	524万9千円		



質問 「医療と連携したまちづくりを！」

団塊の世代が75歳以上となる2025年は、地域包括ケアシステムの実現の目標年次となりますが、それと並行して健康・医療・福祉のまちづくりが必要となります。健康・医療・福祉施策と連携し、スピード感を持って都市計画施策に取り組む必要があると思いますが、町長はどのようにお考えでしょうか。

また、高齢化に伴い、運転免許証の返納も進みますが、返納後も通院や買い物に不安を感じないためには、どのような施策をお考えでしょうか。

高齢者も子育て世代も健康維持のためには、人との会話も大切です。そこで、コミュニティ活動への参加や活性化を図る取り組みも大切になるとと思いますが、その点はどのようにお考えでしょうか。

今年、八雲高校卒業生の進路は医療関係に進む生徒が多かったそうです。講師派遣、奨学金のPRなど、是非、教育との連携をより一層深めるべきではないでしょうか。

答弁 「全課連携して地域づくりに努力する！」

より具体的な施策を進めるため、今年度より2カ年で立地適正化計画を策定し、従来の土地利用の計画に加えて、居住機能や都市機能の誘導によりコンパクトシティに向けた取り組みを推進します。計画の策定においては、総合病院を含む八雲町全課での庁内会議で連携を図るとともに、都市計画審議会においても、様々な関係分野からのご意見を頂きながら進めたいと考えています。とりわけ、立地適正化計画における医療、福祉の連携は、福祉・医療政策を展開することで、より多くのまとまった地域において、効果的・効率的な福祉・医療サービスを住民に提供することが重要であり、医療や介護など様々な生活支援サービスが日常生活圏内で適切に提供されるコンパクトなまちを目指していきます。

高齢者が通院や買い物に不安がないよう、社会環境の変化や策定される各種計画に沿って、関係部署が連携してデマンド交通や循環バス等々も調査しながら、真剣に考えていきます。

高齢者が社会参加・社会的役割を持つことにより、生きがいや介護予防につながることを期待されるため、今後実施する生活支援体制整備事業を活用し、地域関係団体、組織、関係部署等と連携を図りながら、地域の実情にあわせ、身近な地域で気軽に交流できる通いの場づくりを、進めていきたいと考えています。

八雲総合病院では、高校生に対する医療職種に関する就職支援として、インターンシップや1日看護体験、一昨年から医療職種に進学する生徒を対象とした、医療技術研修などを実施しており、実を結んだものと思います。中学生には、医師による内視鏡操作の体験や看護業務の体験など医療現場の仕事を体験させるお仕事なりきりツアーを実施するほか、今年度は北海道保健福祉部より地域医療を担う青少年育成事業の指定を受け、医療体験や講演会などを実施する予定で、保健福祉課、学校教育課、八雲総合病院の三者で進めています。地域の医療・保健機関と連携して各機関の取組のPR等にも積極的に努めていきます。

第35回 山車行列 開催!

7月7日(金) 8日(土)の2日間、八雲山車行列が行なわれます!

山車行列は今年で35回目になります。第35回山車行列は、久しぶりに総合病院が参加、そしてJA青年部が初参加となります。各団体、毎晩頑張って作り上げた力作が登場します。私の関係する主な団体では、『ハッピーペンギン!』(マリア幼稚園)、『やくもっちい on 新幹線』(レディースネット&C+アルファ)、『NOY35~平和が一番!~』(NPO やくも元気村&八雲村と交流を進める会&おやじの会)と、どの山車も『平和』がテーマです。平和を求める心は世界中どこも同じです。テロや戦争がなくなるだけではなく、地震や洪水の被害を受けた皆さま、未だに避難生活を強いられている皆さまが、1日も早く日常生活を取り戻すことができるようにと、心を込めて作りました。当日の飛び入り参加も大歓迎ですので、是非、一緒に山車行列を楽しみましょう! 皆さまのお越しをお待ちしております!

7日(金): 午後7時 図書館を出発し、駅前を通って、役場にゴールします。審査席(ささだ道議事務所横)では、各団体のパフォーマンスを全て見るができます!

8日(土): 午後5時から役場前で、踊りの披露があります。午後7時に役場前を出発し、駅前に到着&打ち上げ。大賞チームの踊りの披露や子ども達用に、お菓子まきやもちまきもありますよ! ケガをしないように参加してくださいね!



おしらせ!

NPO法人やくも元気村では、八雲シンフォニーの仕事の一つとして、小さな小さなパン工房を始めます。感謝と真心をたくさん込めて、一つひとつ丁寧に作りますので、是非、お買い求めください。「遠くてなかなか行かない」という方には、お届けいたしますので、是非、お気軽のお電話ください!

オープン: 7月18日(火) 予定

場所: グループホーム『ホッと』の隣りです

営業時間: 午前11時~午後3時

連絡先: 八雲シンフォニー ☎62-4300

アンケートも

どうぞよろしくお願致します!



赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126 FAX=62-3632

電話=080-5588-2090(赤井) (赤井むつみでブログの検索を!)

赤井自宅 栄町56-12 ☎ 63-2090